

# 十市遠忠全歌集の文獻學的研究

A philological research on complete collection of poems by TOCHI Totada

研究代表者：埼玉大學教養學部教授

武井和人

Saitama University

Faculty of Liberal Arts

Prof. TAKEI Kazuto

## 1 研究スタッフ

[研究代表者] 教養學部・教授・武井和人

## 2 補助金等獲得の現状

- ①平成18～20年度・科学研究費補助金・基盤研究(B)「室町後期禁裏本の復元的研究」  
〔課題番号：18320039〕※研究代表者：武井和人

## 3 研究経過および成果

本年度は、以下の調査・研究を行った。

### ①薬師寺藏『日吉法樂三十首』の豫備的調査、及び、持明院家舊藏未整理歌書の悉皆調査

本年度は、所藏先の管理上の都合により、『日吉法樂三十首』に関しては豫備的調査にとどめざるをえなかつた。そこで、「持明院家舊藏未整理歌書」についての悉皆調査を先行させ、假目録(CSVファイル形式)を完成した(上記科研費による調査との共同作業)。

#### 【假目録データ／サンプル】

函架番号:A01  
外題: 優羽卷第三家伝  
紙数: 18  
法量: 27.1×20.0  
装訂: 大和綴  
冊数: 1冊  
刊写: 写  
刊写年時:  
書写者:  
備考: (端作)優羽卷第三(奥書)慶長十三年正月晦日高橋文内書尹祥本二此三卷不審甚多しといへ共御家ヨリ文内へ直御伝之御書の由力石勘平予へさつけをくりぬ安永四年※「尹祥本」以下朱書

#### 【調査参加者】※武井以外(職名等は平成18年度のもの)

川島 絹江(東京成徳短期大學・教授)

久保木秀夫(國文學研究資料館・助手)

石澤 一志(鶴見大學・非常勤講師)

相原 宏美(廣島大學・大學院・博士後期課程)

祢津 宗伸(埼玉大學・大學院・博士後期課程)

## ② 科研費の共同研究において調査・撮影済だが、未翻刻のまま残された遠忠家集・定數歌の考證・刊行

以下の二點の論文を公刊した。

### (1) 「かたくななる遠忠」(單著)

(『研究と資料』第55輯、2006・7) p 19～29

遠忠が「鮎」を「あひ」と表記する極めて例外的な和歌が、尊經閣文庫蔵『五十番調合』に見られることを指摘し、そこにこめられた遠忠の深慮を分析すると共に、遠忠自筆文獻における位相をも考察した。

### (2) 「未刊遠忠定數歌二種－略解・翻刻－」(單著)

(『研究と資料』第56輯、2006・12) p 11～18

以下の二點の未翻刻資料を翻刻し、併せて、成立事情を考察した。

・尊經閣文庫蔵『遠忠花五十首和歌』〔13・19〕

寶永3年(1706)に遠忠自筆本を影寫したもの。自筆本は所在不明。

・天理圖書館蔵『春日陪住吉社詠三十首和歌』〔911・2・イ183〕

遠忠自筆。天文8年(1539)寫。卷子本1軸。

## ③ CD-ROM版『私家集大成』に載録される遠忠家集の點檢・考證・翻刻

以下の作業を行った。

◇遠忠集Ⅰ～Ⅴ(明治書院版『私家集大成』に既収載)……本文點檢・解題補訂

Ⅰ～Ⅴまで、すべての翻刻を原本の寫眞版と對校し、多數の訂正を施した。

◇遠忠集Ⅵ・Ⅶ(明治書院版『私家集大成』に未収載)……本文翻刻・解題執筆

新たに翻刻・解題を追加した遠忠家集は以下の通り。

遠忠集Ⅵ……國立公文書館内閣文庫蔵『賜蘆拾葉』〔217・11〕第八十六所収  
「十市遠忠詠草」内「遠忠詠草」

遠忠集Ⅶ……天理大學附属天理圖書館蔵『遠忠朝臣詠草』〔911・25・イ63〕

## 4 豫定される今後の調査・研究

### ① 未翻刻資料の完全なる公刊

自筆本資料に關しても、いまだ數點未翻刻のまま残されてゐるものがある(尊經閣文庫蔵のものを中心)。また、彰考館文庫に藏される轉寫本で逸し難い未翻刻資料がある。これらの資料を調査・収集・翻刻し、當初の研究目標であつた《十市遠忠全歌集》刊行を目指す。

### ② 遠忠の全文藝活動の把握

遠忠の文藝活動のいま一つの分野に、古典籍書寫がある。この點に關する調査も進めて來てゐるところだが、なほ完璧ではない。特に、傳遠忠筆古筆切は相當數現存してゐると思はれ、それらの悉皆調査も續けて行く豫定である。